



兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2022 **7**



6月27日、兵庫県民会館において「第72回 通常総会」を開催。2021年度活動報告、2022年度活動計画など5つの議案について審議し、すべての議案が可決されました。
(関連ページP.3)





日本協同組合連携機構
代表理事専務

比嘉 政浩
(ひが・まさひろ)

「ゆるやか」「あいのり」「やってみる」 の協同組合間連携

日本協同組合連携機構（JCA）の比嘉と申します。兵庫県内生協関係者の方々、兵庫JCC[※]の皆さま方には日頃より大変お世話になっております。

JCAは2018年4月に発足した、戦後初の協同組合横断の常設全国組織です。2012年の国際協同組合年（IYC）を契機に、各協同組合全国組織の役員が一緒に活動する機会が増えました。その中で、異種の協同組合が連携すれば、従来以上に新たな価値を生み出し社会に貢献できる、事業上の連携にも可能性が大きいとの確信を多くの方々を持ち、JCAの発足につながりました。

2021年11月にはコープこうべ協同学苑をお借りして、第4回都道府県協同組合連携組織全国交流会議を開催し、兵庫県内の取り組みを学ばせていただきました。

協同組合は、組合員共通の利益（共益）実現のための組織ですが、誕生した時から、地域や社会全体に貢献する意思を持っていたと認識しています。ましてや兵庫県では生協の世帯加入率は過半に至り、インフラとしての役割を果たしておられます。協同組合は多様ですが、多くの協同組合は地域から離れることはできません。また、地域社会が疲弊しているのそこにある協同組合だけが発展することも想定でき

ません。地域活性化への挑戦はわれわれの使命であり宿命であると思います。

しかし、協同組合は自ら経営収支をまかなう事業体であり、経営資源には限界があります。そこで協同組合間の連携が必要になると考えます。

連携強化と言っても、一つの組織になろうというわけではありません。具体的な目標が違うのですから異なったところは必ずあります。一致できる点で連携する、が原則です。そして、地域課題の解決に貢献したいという点は一緒なので、一致できる点は必ずあるはずです。

JCAの提案は「ゆるやか」「あいのり」「やってみる」の協同組合間連携です。

兵庫JCCは一貫して全国をリードしてこられました。JCAは多くの事例に学び、その真髄を見極める力を鍛え、情報発信し、全国に協同組合間連携が広がるよう努力したいと思えます。

※ 兵庫JCC（兵庫県協同組合連絡協議会）
兵庫県生協連合会、JA兵庫中央会、JF兵庫漁連、兵庫県森林組合連合会を中心に県内の協同組合組織相互の連絡提携などを目的として、1984年に設立されました。

CONTENTS

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 2. 想点 | 6. 協同組合のかけ橋 |
| 3. 兵庫県生協連 第72回通常総会報告／2022年度活動計画 | 7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓 |
| 4. 2022年度第1回理事会報告／2022年度体制 | 8. ひょうごまるごと健康チャレンジ2022 案内／
県連行事予定 |
| 5. 2021年度第7回理事会報告／
兵庫JCC「2021年度 虹の仲間づくりカレッジ」開催 | |

兵庫県生協連 通常総会 開催

基本テーマ

つながる力で未来をひらく
～平和で持続可能な社会の実現～

6月27日、兵庫県民会館で兵庫県生協連
第72回通常総会を開催しました。総会開催

にあたり、齋藤元彦兵庫県知事や久元喜
造神戸市長をはじめ、日本生協連土屋敏



開会挨拶
岩山利久会長理事



議長
森本浩様



議案提案
松岡久雄専務理事



監査報告
金丸正樹特定監事



議案提案
末松泰信副会長理事
(役員推薦委員長)



活動報告
陰平康則様



活動報告
中尾太樹様



活動報告
中田幹二様



活動報告
坂本健治様

夫会長、関西地連井爪宏行事務局長など、兵協連会員生協・団体を含む全国の生協の仲間や友誼団体の皆様から、お祝いのメッセージや祝電を頂戴していることが、司会より紹介されました。

議長にはろっこう医療生活協同組合の森本浩代議員が選任され、議事を行いました。代議員総数35名中、35名が出席（実出席22名、書面議決13名）し、2021年度活動報告、2022年度活動計画、役員選任など5つの議案について審議し、全ての議案が可決承認されました。会員生協活動報告では、生活協同組合コープこうべ 陰平康則様から「週一宅配を活用した福祉作業所（神戸町）による見守りと買い物支援」について、神戸市外国語大学消費生活協同組合 中尾太樹様から「神戸市外国語大学消費生活協同組合 活動報告」について、宝塚医療生活協同組合 中田幹二様から「創立50周年を節目に新たなステップを踏み出す」について、西宮市民共済生活協同組合 坂本健治様から「対面の大切さ」について、それぞれ発表がありました。

また、今回は2年に1度の役員改選が行われ、総会直後に開催された第1回理事会の結果、新年度の役員体制について決定いたしました。

2022年度基本テーマ つながる力で未来をひらく

～平和で持続可能な社会の実現～

重点方針

- 1 協同組合間協同・連携により兵協連SDGs優先課題に取り組みます
- 2 若年層への啓発活動を強化し消費者市民社会の形成に向けた取り組みを推進
- 3 平和と防災活動を強化し安心してらせる社会の実現に向けた取り組み

2022年度兵庫県生協連 第1回理事会報告

1. 開催日時 2022年6月27日(月) 午後3時19分～3時26分
2. 開催会場 兵庫県民会館 12階 「1201」
3. 出席者 岩山、末松、江見、若生、小谷、坂本、森本、菅原、道上、清宮 (以上、理事)
中川、瀬井、柏原 (以上、監事)

●会長理事、副会長理事、専務理事の互選および常勤する理事選任の件

三役の互選については、理事全員の賛成で下記の理事が選任された。

会長理事 岩山 利久
副会長理事 末松 泰信
専務理事 江見 淳 (常勤する理事)

●代表理事の選定の件

代表理事の選定については、理事全員の賛成で下記の理事が就任した。

会長理事 岩山 利久
副会長理事 末松 泰信
専務理事 江見 淳

●日本生協連関西地連運営委員の交代について

日本生協連関西地連運営委員については、下記の理事に交代することを報告した。

兵庫県生協連 専務理事 江見 淳

兵庫県生協連・2022年度 新執行体制

○新任

役職	氏名	単協 団体・役職	役職	氏名	単協 団体・役職
会長理事	岩山 利久	コープこうべ 組合長理事	理事	松永 俊一	神戸医療生協 常務理事
副会長理事	末松 泰信	兵庫県立大学生協 専務理事		○森本 浩	ろっこう医療生協 専務理事
専務理事	○江見 淳	コープこうべ 統括部長		菅原 隆喜	神戸市民生協 専務理事
理事	若生留美子	コープこうべ 理事		道上 昌一	兵庫労働共済生協 専務理事
	中野 朋子	コープこうべ 理事		清宮 豊	近畿労働兵庫兵庫地区本部 本部長
	小谷 里香	生活クラブ生協 理事長	監事	中川 寿子	コープこうべ 常務理事
	○坂本 安弘	神戸大学生協 専務理事/ 神戸親和女子大学生協 専務理事		○瀬井 宏幸	尼崎医療生協 専務理事
○柏原 浩明				姫路市民共済生協 理事長	

新任役員・退任役員

～退任の役員～



松岡 久雄氏 池上 正寿氏



木田 克也氏 金丸 正樹氏 中川 勝正氏

～新任の役員～



江見 淳氏 坂本 安弘氏



森本 浩氏 瀬井 宏幸氏 柏原 浩明氏

2021年度 兵庫県生協連 第7回理事会報告

- 【開催日時】 2022年6月6日(月) 14:00~16:00
【開催会場】 兵庫県民会館 7階 「亀」
【出席者】 岩山会長理事、末松副会長理事、松岡専務理事、若生、中野、小谷、池上、松永、瀬井、菅原、道上、清宮、木田（以上、理事）
金丸、中川(寿)、中川(勝)（以上、監事）

《議決事項》

1. 第72回通常総会 第1号議案承認について
(1号議案) 2021年度活動報告、決算報告および
剰余金処分案承認の件、監査報告
2. 2022年度会費額および会費予算の決定について
3. 第72回通常総会 第2号~第5号議案承認について
 - (1) (2号議案) 2022年度活動計画および収支予算案承認の件
 - (2) (3号議案) 役員選任の件
 - (3) (4号議案) 役員報酬決定の件
 - (4) (5号議案) (一社) ひょうご大学生支援機構加入の件

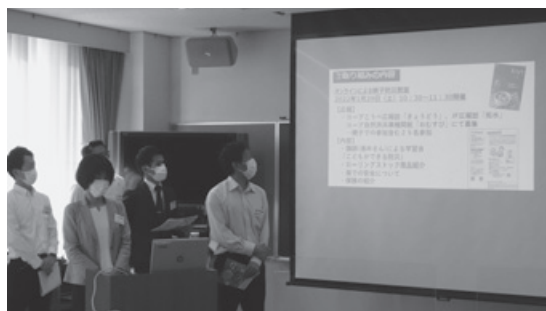
《報告事項》

1. 分野別生協・団体（出席理事・監事）からの状況報告について
2. 第72回通常総会の運営について
3. 第72回通常総会直後に行われる第1回理事会議題について
4. 2022年度生協功労者表彰の候補者推薦について
5. 第2回理事会後の兵庫県県民生活部と兵協連理事会との懇談会および懇親交流会について
6. 第39回兵庫 JCC 委員会(7月1日)および第100回国際協同組合デー・兵庫県記念大会について
7. その他 兵協連行事(4/5~6/6分)
8. 2022年6月~兵協連主要行事スケジュール(案)について

兵庫 JCC 「2021年度 虹の仲間づくりカレッジ」 実践報告会を開催しました

5月25日 2021年度「虹の仲間づくりカレッジ」最終回「実践報告会」が、コープこうべ協同学苑（兵庫県三木市）で開催されました。

2021年度もコロナ禍の影響でプログラムが延期になり、お互い集まりにくいなど通常とは異なる中での実践となりましたが、各班ともカレッジ生同士、コミュニケーションをとって自身の所属する協同組合の得意分野を活かした協同組合間協働が実現し、中身の濃い実践報告会となりました。



1班：組員・地域住民の防災意識を高める取り組み

“防災”をテーマにオンライン親子防災教室を開催。講師による学習会『こどもができる防災』に続き、クイズ形式で防災グッズや備蓄品の紹介、海での安全、保険の紹介、とそれぞれの協同組合が持つ得意分野を集結して参加組員に伝えました。

2班：かいぼり体験から身近に自分たちが出来ることを考える取り組み

開催地となる兵庫県内の市と連携し、2021年11月~12月にかいぼり体験を計画しましたが実施に至っていません。2022年度に再度活動を計画し、現時点で2023年1月21日(土) 明石のかいぼりに参加予定。体験、学習、アンケートを計画。

3班：海を取り巻く環境への関心を高め、魚食普及を目指す取り組み

キックオフイベント実施後、SNSグループ(LINE)で仮想協同組合を立ち上げ、魚に関連する仮想通貨ポイント「魚(ぎょ)」を集める(例えば、マイバッグを持参したら5ポイントの「魚」)企画を実践しました。

協同組合のかけ橋

JF

JF 由良町・JF 但馬

兵庫ならではの魅力に気付く旅へ

JF 由良町 川北勝彦さん、
JF 但馬 福本好孝さんが
兵庫テロワール旅に紹介される



日本海、瀬戸内海に中国山地、個性豊かな島々……多彩な風土に恵まれた兵庫県。その中で世界が感嘆する食材や文化が生まれ、受け継がれてきました。

兵庫テロワール旅では、兵庫県に暮らす人々の紹介をとおして、各地域に根差した食や文化を味わい楽しみ、それらが生まれたルーツや背景を探り、受け継いできた人の想いや技術に触れることが出来ます。

食の宝庫・兵庫の大地を味わう旅へにおいて、「淡路島・由良が誇る『川勝のうに』。素潜り漁師としての覚悟と自然への畏敬」として由良でのウニ漁や取組みについて、JF 由良町の川北勝彦さんが、「紅ズワイガニ『香住ガニ』を仲間とともに全国へ」では香住ガニ漁への思いについて、JF 但馬の福本好孝さんが紹介されております。



川北勝彦さん



福本好孝さん

JA

JA 兵庫六甲

昭和20年代から続く岩岡キャベツを たくさんの人に届けます!

神戸市の最西端に位置する岩岡地区は、約70年前から続くキャベツ栽培が盛んです。県内でも有数の生産量を誇り、国の野菜指定産地に指定されています。

JA 兵庫六甲は、令和3年度から同地区のこうべ旬菜キャベツ部会とJA 全農兵庫、土木建築請負会社である株式会社創新とのパートナーシップにより、収穫支援の取組みを行っています。同JA 神戸西営農総合センターで担当していた荒木辰哉さんは、農業者の高齢化だけでなく、収穫作業が重労働であるためにキャベツ部会全体の作付面積・生産量が今後減少していくと考え、収穫作業の負担を軽減するための労働力支援の仕組みを構築しました。この労働力支援はキャベツの刈り取り、箱詰め、運搬作業を革新に委託することで作業負担を軽減し、キャベツの作付け拡大を図るものです。

同地区の木下真規さんは9年前に就農し、現在では若手代表としてキャベツ部会を引っ張る存在です。木下さんが作付け拡大に向けて課題だと感じたのは、収穫作業の負担の大きさでした。令和3年度から、革新の人員による労働力支援を毎日6人以上受けることで、10aあたりの収穫作業時間を24時間削減。分業化・省力化が可能になったことで、28aの作付け拡大を実現できました。

JA 兵庫六甲では農業者の高齢化が進む中、農業生産の拡大と農家所得の向上に向け、組合員農家が生産に集中できる分業化・省力化システムの強化に取り組みます。



キャベツの生育状況について話す木下さん(左)と荒木さん



最近の消費生活相談事例

ネット通販の定期購入にご注意! ～6月1日より法改正されました～

Q 高校2年生の息子が、動画投稿サイトの「お試し価格100円」というダイエットサプリの広告を見て、商品を注文した。商品到着後、同封の明細を見ると4回の継続が条件で、総額が2万円の定期購入の契約だった。事業者に連絡しても解約に応じてくれない。
(40歳代 男性)

A 動画投稿サイトやSNS、検索サイトなどに表示される「お試し価格」「初回無料」という広告を見て申し込んだところ、複数回の購入が条件の高額な「定期購入」だったという相談や、「いつでも解約できる」と書いてあったのに、実際は細かい条件があるためなかなか解約できないといった相談が、年々増加しています。このような「定期購入」のトラブルが全国で急増したため、特定商取引法が改正され、今年6月1日から、事業者は取引における基本的な事項を申込みの最終確認画面（契約が完了する直前の画面）に明確に表示することが義務付けられました。

具体的には、①商品の数量（各回の分量）、②販売価格（2回目以降の代金）、③支払の時期・方法（各回の請求時期）、④引渡・提供時期（次回分の発送時期）、⑤申込みの撤回・解除方法などについて、消費者が簡単に確認できるように表示する必要があります。トラブルに遭わないために、この「最終確認画面」を隅々まで確認しましょう。また、申込み場合は、スクリーンショット（画面のコピー）など証拠として保存しておきましょう。

特に、4月からの成年年齢引下げにより新たに成人となった18歳、19歳の方は、「未成年」を理由に契約を取り消すことができなくなりましたので、契約の際にはより慎重に確認しましょう。少しでも不安に思ったときは、お近くの消費生活センターにお電話ください。
(消費者ホットライン 局番なし188)

(兵庫県立消費生活総合センター ☎078-303-0999)



適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体NPO法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。
「お金を配ります」と言う人を信じますか？その人が実在するかどうかにもよるかと思いますが、TwitterやFacebookなどのいわゆるSNSで拡散されている場合はどうでしょうか。私なら「そんなうまい話はない」「何か裏がある」「怪しい」と思うのです。けれども、最近、大学生と話すことがあります。「信じるか信じないかの判断が難しい」「友達の前澤さんから●円をもらってましたよ」と言うのです。私、これには驚きました。「お金を配る」うまい話で判断に迷うのだと。その大学生はSNSにも慣れていて、自分で発信もしていたり、SNS上で交流することも何ら違和感がないような人でした。ちなみに「前澤さん」というのはZOZO創業者の前澤友作さんのことです。時代は移り変わっていくものですね。怪しいと思うものの感覚も変わってきているのかもしれない。一概に詐欺的なものか判断しにくい時代なのかもしれません。SNS上には、本当か嘘か、というより、加工や誇張されたような、写真やコメント、動画が溢れているように感じます。私たちには、情報の目利きが求められるのかもしれません。
(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)



ひょうご消費者ネット
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

MOVE



「ひょうごまるごと健康チャレンジ2022」

今年も始まります！

チャレンジ期間 2022年7月20日(水)～11月30日(水)

「食事」「運動」「リフレッシュ」は健康づくりの三大要素。プラス、正しい「生活習慣」で健康をさらにパワーアップ！あなたに最適な「健康チャレンジ」をみつけて、まずは一步を踏み出してみましょう！！

「ひょうごまるごと健康チャレンジ2022」は、参加者が自分に最適な「健康チャレンジ」をみつけて、気軽に健康習慣づくりができる取り組みです。期間中30回チャレンジしたら「はがき」か「Web」で結果を報告。抽選でJTBギフト券が当たります。皆さまのご参加をお待ちしています。

参加方法

- 1 チャレンジシートを手に入れる。
*チャレンジシートは各医療生協の窓口やコープこうべ店舗で配布。
- 2 シートにあるコースのメニューを参考にチャレンジ項目を決める。
- 3 マイチャレンジカレンダーにチャレンジ項目を書き、取り組んだ日付を記入する。
- 4 30回チャレンジできたらシートの結果報告はがきを送る (WEBでも受付)

県連行事予定

- 7月1日(金) 第100回国際協同組合デー・兵庫県記念大会
- 7月7日(木) 兵協連 ひょうごまるごと健康チャレンジ実行委員会 (県民会館 けんみんホール/オンライン)
- 7月8日(金) 兵協連 生活問題研究会 (県民会館 ぼたん)
- 7月19日(火) 兵協連 共済生協部会 (オンライン)
- 7月20日(水) 兵協連 生協活動委員会 (県民会館 鶴)
- 7月22日(金) 兵協連 大学生協部会 (県民会館 302)
- 7月25日(月) 兵協連 監事会 (兵協連事務所)
- 7月26日(火) 兵協連 保健医療福祉研究会 (県民会館 302)
- 7月27日(水) 兵協連 医療生協部会 (オンライン)

編集後記

会員生協・団体皆さまのご支援により、第72回通常総会を無事、終えることが出来ました。ありがとうございました。兵庫県生協連が協同組合間の連携に一層お役立ちできるよう、皆さまのますますのお力添えをお願い申し上げます。

私の携帯の今日のニュースのプッシュ配信に、兵庫県に今年初「熱中症警戒アラート」発表、東京電力管内「電力需要ひっ迫注意報」という項目がありました。この先は厳しい暑さが続くとのこと。ありきたりの言葉ですが、皆さま体調を崩されぬようくれぐれもお気をつけください。熱中症や夏バテを予防して猛暑を乗り切りましょう！

